

組織としての公文
書番号を付番して
いない場合、空欄

令和 年 第 月 号 日

文化庁長官 殿

代表者氏名は、記名+押印として
ください。
(印は代表者印)

団体名 ○○市
住所 ○○県○○市○○町3-2-1
代表者職名 市長
代表者氏名 ○○ ○○ **印**

令和元年度 文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）交付要望書

令和元年度 文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり要望します。

収支予算書の交付要望額と同額。千円未満の端数は申請できませんので、自己負担額等で負担してください。

事業の名称	○○文化財 アプリコンテンツ整備事業	
補助金の交付要望額	(総補助事業経費 補助率見込み	6,570,000 円 9,000,000 円) 73 %
補助事業の着手及び完了の予定期日	着手 令和元 年 8 月 1 日 完了 令和2 年 3 月 31 日	← 交付決定日以降

(ふりがな)	
担当者氏名	実務を担当(書類作成)している方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡のとれる電話番号も記載してください。
担当者所属機関・部署名	
連絡先 (TEL)	
〃 (FAX)	
〃 (E-MAIL)	
書類等の郵送先	
その他(日中連絡先)	

<事業計画書>

事業の名称		〇〇文化財 アプリコンテンツ整備事業														
整備事業の概要																
<p>●●市には、●●をはじめとして貴重な文化財が集積している。市の●●エリアの観光ルートとして、下記に掲げる文化財を周遊するコースを推奨しているところである。</p> <p>このたび、外国人観光客等のさらなる誘客を目指し、●●エリアの文化財の魅力を伝えるコンテンツを作成する。具体的には、史跡●●城跡から、重要文化的景観●●の農村景観、●●遺跡などを対象として、日本語とともに英語で説明するアプリを作成する。なお、●●城跡については、VR技術を用いて、当時の建造物の様子がタブレット等から見れるようなコンテンツを作成する。併せて、●●の町並みについては、AR技術を用いて、当時の農作業等の様子がタブレット等から見れるようなコンテンツを作成する。</p>																
関連するほかの事業概要（国際観光旅客税充当事業）																
事業名	地域観光資源の多言語解説整備支援事業										年度	30年度	備考			
事業名										年度	元年度	備考	申請中。〇月交付決定予定。		
日本版DMOの参加状況（該当ある場合に記載）																
日本版DMOの名称	〇〇団体										備考					
事業への関わり状況	〇〇検討委員会に参画して助言いただく。															
具体的な指標及び目標値①																
対象文化財の外国人観光客数	現状値	30年度	20,000人	元年度	21,000人	2年度	25,000人	3年度	29,000人	4年度	34,000人	目標値	5年度	38,000人		
具体的な指標及び目標値②																
対象文化財の外国人観光客満足度	現状値	30年度	—	元年度	70%	2年度	75%	3年度	75%	4年度	80%	目標値	5年度	80%		
補助率調整 見込み																
①対象文化財数	文化財数	4つ	→	加算見込み	10	⑤推奨人材の監修				状況	あり	→	加算見込み	0		
②事業規模	事業費	900万	→	加算見込み	0	⑥日本版DMO				状況	あり	→	加算見込み	10		
③補助事業者の財政規模	財政力指数	0.3	→	加算見込み	10	⑦先端技術を利用した解説板に加え、複数の技術整備				状況	なし	→	加算見込み	0		
④他の国際観光旅客税事業との連携	状況	あり	→	加算見込み	10	調整見込み分 合計						→	加算見込み	40		

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。

<収支予算書>

区分	金額 (予定を含む。)	内訳	備考
収入の部	本事業以外の 支援金・助成金	0	0
	その他収入	0	交付要望額は千円未満の端数が出ないようにしてください。端数が出る場合は自己負担額にいらしてください。この値は1枚目の、補助金の交付要望額と同じになります。
	小計 (A)	0	
	自己負担金 (B)	2,430,000	
	本事業による補助金の交付 要望額 (C)	6,570,000	同額になるようにしてください。
①収入合計 (A) + (B) + (C)	9,000,000	0	

区分	総事業費	交付要望額	左記のうち自己負担額等	
支出の部	総事業費	9,000,000	6,570,000	2,430,000
	事業経費	9,000,000	6,570,000	2,430,000
	コンテンツ作成経費	5,000,000	3,650,000	〇〇市予算 1,350,000
	機器整備費	1,500,000	1,095,000	〇〇市予算 405,000
	英語解説文制作経費	1,500,000	1,095,000	〇〇市予算 405,000
	仏語解説文制作経費	1,000,000	730,000	〇〇市予算 270,000

<支出内訳明細>

事業名称	経費内訳	総事業費	交付要望額	自己負担額等
VR等を利用したアプリコンテンツ作成経費	【委託費】 制作委託 一式 5,000,000円(見積書添付)	5,000,000	3,650,000	1,350,000
機器整備費	【需用費】 タブレット @50,000円×30台=1,500,000円	1,500,000	1,095,000	405,000
解説文制作経費(英語)	【委託費】 制作委託 一式 1,500,000円(見積書添付)	1,500,000	1,095,000	405,000
解説文制作経費(仏語)	【委託費】 制作委託 一式 1,000,000円(見積書添付)	1,000,000	730,000	270,000
合 計		9,000,000	6,570,000	2,430,000

実施体制の概要

(ふりがな) 名称	○○○○	(ふりがな) 代表者職名・氏名	しちょう ○○○ ○○○
	○○○○協議会		市長 ○○ ○○
所在地	〒000-0000 ○○県○○市○○町3-2-1	電話番号	****-****-****
		FAX番号	****-****-****
構成員		構成団体	
○○ ○○(○○行事保存会会長) ○○ ○○(○○市観光協会会長) ○○ ○○(○○市教育委員会○○課長) ○○ ○○(○○市○○課長)		○○保存会 ○○市観光協会 ○○市	
組織図	○○市教育委員会○○課や○○市○○課、市指定有形文化財(建造物)の保存会、○○大学の○○教授(○○学部○○学科教授(専門分野:都市計画))、観光協会会長及び地域住民代表として▲▲自治会会長等で構成する策定委員会を設置し、……………。		
<pre> graph TD A[委員長 ○○ ○○(○○大学教授)] --- B[副委員長 ▲▲ ▲▲(○○保存会会長)] A --- C[委員] B --- C B --- D[委員] C --- E[委員] </pre>			

※ 委員会等の設置規則を併せて提出すること。

※ その他、本事業に協力することが可能な地域住民等による団体(例:自治会、町内会、公民館、NPO、文化財愛護団体等)を把握していれば、リストを提出すること(様式自由)。

見 積 書

〇〇市 殿

観光アプリコンテンツ委託費について、下記のとおりお見積もりします。

〇年〇月〇日

(株)〇〇〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇 印

金 7,500,000 円

事項	金額	備考
企画経費	400,000	
取材調査経費	1,000,000	
監修経費	100,000	
CGデータ作成費用	3,000,000	
音声データ作成費用	500,000	
映像データ作成費用	2,500,000	
消費税(8%)	74,841	
小計	7,574,841	
値引き	74,841	
合計	7,500,000	

- ※ 人件費については、内訳を記入してください。
- ※ 単価等は「各費目における単価上限、補助対象外経費等」によるものとしてください。
- ※ 使用料、借料、再委託費、消耗品費等については、内訳明細を添付してください。
- ※ 発注予定金額が10万円（税込）以上の場合、見積書を徴すること。
- ※ 発注予定金額が100万円（税込）以上の場合、複数者から見積書を徴してください。複数者から見積書を徴することができない場合は、理由書（任意様式）を添付してください。

整備対象文化財一覧表

○一覧表③ 英語解説文

文化財種別	指定等文化財の名称	今回整備予定の英語解説文										
		日本語元原稿の有無	使用する予定の媒体と使用手法	当該文化財あたりの解説文制作本数	制作する解説文の見込みワード数	執筆者（ネイティブであること）氏名（所属機関等）	執筆者の主なライティング経歴	監修者（ネイティブであること）氏名（所属機関等）	着手時期	完了時期	校正者（所属機関等）	編集者（所属機関等）
例 重要文化財	〇〇神社	有	VRコンテンツへのナレーション	3本	150ワード	〇〇氏（〇〇博物館学芸員）	平成28年：〇〇英語版ホームページ担当	△△氏（〇〇大学△△学部教授）	7月上旬着手	12月上旬完了	〇〇氏（〇〇）	〇〇氏（〇〇）
例 重要文化財	〇〇寺	有	QR付き案内板	5本	200ワード	交付決定後に選定しますが、ネイティブのライターが執筆します。	交付決定後に選定するが、ネイティブのライターを予定	△△氏（〇〇大学△△学部教授）	8月上旬着手	11月下旬完了	〇〇氏（〇〇）	〇〇氏（〇〇）
例 史跡	〇〇遺跡	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作
1												
2												
4												
5												

※観光庁事業で制作済の場合には「観光庁事業で制作」と記載してください。

要望書提出確認用シート

文化財所在地		都・道・府・県
文化財所在地		市・区・町・村
要望事業者		

チェック欄

1. 下記の提出書類は、全てそろっているか。(A4用紙、片面印刷、ダブルクリップ留めのこと)
※は全要望事業者必須。それ以外は該当がある場合に必ず提出。
2. 各様式について、未記入の欄はないか。

要望事業者 提出書類

- (1) 交付要望書 ※
- (2) 事業計画書 ※
- (3) 収支予算書、支出内訳明細 ※
- (4) 整備対象文化財一覧表 ※
- (5) 事業者の財政状況を示す書類
- (6) 協議会等(補助の対象となる者)の実施体制の概要
- (7) 協議会等及び構成団体の定款に類する規約並びに構成員・構成団体の名簿
- (8) 見積書
①使用料及び借料や役務費、委託費、需要費において発注見込額が10万円(税込み)以上の場合
②発注見込額が100万円(税込み)以上の場合は、複数者から徴取した見積書
③複数者の見積書が添付できない場合はその理由書
- (9) 事業実施企画書 ※
- (10) 整備対象文化財位置図・配置図 ※
- (11) 権利者からの同意書
- (12) 要望書提出確認用シート ※